



平成 27 年 10 月 19 日

各 位

会 社 名 株式会社淀川製鋼所
代表者名 代表取締役社長 河本 隆明
(コード：5451、東証第一部)
問合せ先 経理部長 大隅 康令
(TEL. 06-6245-1113)

減損損失（連結）および関係会社株式評価損（個別）の計上に関するお知らせ

当社は、平成 28 年 3 月期第 2 四半期会計期間（平成 27 年 7 月 1 日～平成 27 年 9 月 30 日）において、減損損失（連結）および関係会社株式評価損（個別）を計上する見通しとなりましたので、お知らせいたします。

記

1. 減損損失（連結）の内容

中国の連結子会社であります淀川盛餘（合肥）高科技鋼板有限公司（以下、Y S S 社という。）におきましては、当社グループを挙げて早期の軌道乗せに取り組んでまいりましたが、昨今の中国鉄鋼市場における急激な環境の悪化を鑑み「固定資産の減損に係る会計基準」に基づく減損測定を行った結果、Y S S 社の保有する機械装置等につきまして約 59 億円の減損処理を行う見通しとなりました。

また当社連結子会社でありますヨドコウ興発(株)の保有するスポーツ施設における減損額約 6 億円、および Y S S 社に係るのれんの減損を含め、併せて約 66 億円の減損損失を計上する見通しとなりました。

今般、Y S S 社におきまして会計基準に従い多額の減損損失を計上する見通しとしておりますが、Y S S 社が当社グループの事業戦略上、最も重要な生産・販売拠点の一つであることに何ら変わりはなく、今後もグループの総力を挙げて早期の軌道乗せを図ってまいります。

2. 関係会社株式評価損（個別）の内容

上記 Y S S 社の減損損失により同社純資産価値が著しく低下することとなるため、当社が保有する Y S S 社出資金について、「金融商品に関する会計基準」に基づき、約 56 億円の関係会社株式評価損を計上する見通しです。

尚、Y S S 社出資金に係る関係会社株式評価損につきましては、連結決算上相殺消去されます。

3. 今後の見通し

平成 28 年 3 月期第 2 四半期累計期間および通期業績予想につきましては、現在精査中であり、修正後の業績予想等につきましては集計ができ次第速やかに公表いたします。

以 上